

古事記を読む会 24号 (2016,11,13)

10月の古事記を読む会は、服部征雄氏の提案があった。出雲の国の神話めぐりとして写真入りの資料を準備頂いた。(資料参照)まず、大国主命を助けたキサカイヒメとウムカイヒメは共に出雲大社の本殿に隣接し透き堀内に祀られていることを知った。また、出雲大社には少彦名を祀っていないこと、春日大社や大神神社には祀られていることを教えて頂いた。酒の作り方について、『大隅の国風土記』から米かみて酒船に吐きいれ・・・と、複発酵酒のつくり方と、単発酵の二種がある、そして、仲哀天皇の酒楽の歌を紹介頂いた。ここでは、お酒はスクナヒコナ様が献上してできたものだと歌っている。さらに、八岐大蛇に飲ませた酒は単発酵であるか?原料が、野ブドウや野イチゴであったのだろうか。という。最後に大神神社資料も紹介されている。酒が沸いてくるときと神の降臨になる最高潮の適期であるという。『魏志倭人伝』『後漢書東夷伝』で倭人が殯の時近親者は泣き、死者の回りでは歌舞を行い、酒を飲むとと書かれている。酒にからんで様々な事柄を提案。須賀神社とその奥にある八雲山の写真も提示して頂いた。清々しいと語ったと言う須賀神社は参拝したが、八雲山は行けなかった・・・。

村上さんから古事記の世界観について、三浦祐之教授が語る『古事記』成立の背景から模式図をコピーして配布して貰った。芥川の描いたスサノオの世界観との異同はあるのか?

イズミ氏より労作『現代日本語音図』を頂いた。<ヤマトコトバ・漢語・カタカナ語の共通音図>となっている。これからの言葉(音)の理解に生かしたい。

今後の予定

平成 28 年

- 1月13日の提案 (近藤さんの提案 「アマテラスに関するなぜ?」)
- 12月4日の提案 (イズミさんの提案)
- 12月4日(日) 「古事記を読む会」 は豊栄稲荷神社にて 午後2時半より行います。
その後 忘年会場へ移動します。五十嵐等の車で移動
場所: つむぎ乃 富山市内幸町 8-1 076-444-3910
会費: 4,000円 (大観園向側)

平成 29 年

- 2月5日の提案 (針山康雄さんの提案 古事記に表れる建物に関する事)
- 3月5日の提案 (五十嵐顕房提案 倭族と日本文化)